



東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ: <http://www.asahi-net.or.jp/~uu9y-ktu/index.html>
E-mail: meguro-ys@yahoo.co.jp



156-0051 世田谷区宮城 3-23-2 東京YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

2015年 3月号 No. 583

会長 村野 繁 E M C 村野 絢子
副会長 中田清子 B F 山口愛二
書記 福島 正 プリテン 福島 正 (編集)
会計 根本幸子 プリテン 村野 繁 (印刷)
担当主事 山梨雄一 プリテン 村野 繁 (発送)

クラブ会長 村野 繁 (東京目黒) 老いても、前に進もう
東新部部长 太田勝人 (東京世田谷) 原点を見つめ、充実・飛躍
そして楽しもう
東日本区理事 田中博之 (東京) 誇りと喜びを持って
アジア地域会長 岡野泰和 (大阪土佐堀) 未来を始めよう、今すぐに
国際会長 Isaac Palathinkal (インド) 言葉より行動を

例会当日の **3月11日**は
東日本大震災から丸4年です。

【被災地での音楽ボランティア活動報告】

の記事を小川圭一さん(東京世田谷)が、東日本区理事通信第9号に寄稿されています。

今月の聖句

体は一つでも、多くの部分から成り、体のすべての部分の数は多くても、体は一つであるように、キリストの場合も同様である。

コリントの信徒への手紙 12章 12節 山梨雄一/選

3月 本例会

日時 3月11日(水) 13時30分~15時30分
会場 東京YMCA 南センター 2階会議室
会費 300円 **ビジター・ゲスト 歓迎**

3/9(月)までに福島書記 03-3371-2122 へご連絡ください

開会点鐘	司会	山梨雄一
ワイズソング	会長	村野 繁
聖書朗読・ひと言・お祈り		一同
ゲスト・ビジター紹介	司会者	村野 繁
ティー・タイム	会長	村野 繁
YMCA報告	主事	山梨雄一
卓話「ユースリーダーズフォーラムに参加して」		兼田夏実リーダー
おめでとう(誕生日・結婚記念日)		
みんなで唄おう ♪春が来た♪		一同
閉会点鐘	会長	村野 繁

卓話者 兼田夏実リーダー(クラッシュ)

幼いころよりYMCAのキャンパーとして参加し、昨年度より南センターのボランティアリーダーとしての一歩を踏み出しました。現在は、かつて自分も参加していた小学生の定例野外活動のリーダーとしても活躍しています。明るく元気な性格と、周囲のことをよく考えて行動の出来る素敵なリーダーです。



2月例会記録

在籍会員数	7名	×	6名	使用済み切手
内訳	(2名)	×	1名	累計 4.585kg
メーキャップ	0名	×	5名	
出席率	100%	×	1名	フルトップ
YY指数	260%	×	13名	累計 7.350kg

(姫路クラブ) (目黒クラブ)
お誕生日おめでとう
9日 菅原妙子さん ありません

結婚記念日おめでとう
15日 山本和生・聡子さん ありません

第二（事務）例会

3/11 本例会に引き続き行います。

3月の強調月間（テーマ）

BF

1931年に、ワイズ運動を広めるため、当時北アメリカで行われていたワイズの国際大会に他の地域から参加ができるよう、経済的な支援を行うために設けられた基金です。

東日本区国際・交流事業主任 利根川恵子

メネット

“メネットの元気なクラブはクラブも元気！”という確かな思いがあります。メネットならではの細かい配慮や特に子供たちに向けての支援はメネットあってこそ、強く思いますし、さらに「メネット会」を持つことでメネットとしての意識を高め、YMCAへの奉仕や他の行事への働きも「メネット会」を通ずることによって、お願いする方も引き受ける方もワンクッションがあることで、よりスムーズに、そしてまた良い関係が保たれているのではと思います。

東日本区メネット委員長 加藤真子

那須クラブ20周年記念感謝例会

3月14日（土）13:30～16:00

アジア学院

（那須塩原市槻沢 442-1）

0287-36-3111

姫路/那須/東京目黒 3クラブ交流会

3月14日（土）～15日（日）那須しらかば荘
姫路から山本会長夫妻が参加される絶好の機会に、
村田榮夫妻のお世話で一泊交流会を企画。当クラブの
村野夫妻も宿泊し交流を深めます。

これからの 行事 予定

3/7（土）～8（日） 次期クラブ会長・

次期部役員研修会（東山荘）

3/11（水） 東京目黒クラブ本例会&第二例会

（南センター 2階会議室）

3/14（土） 那須クラブ20周年記念会

（アジア学院）

東京目黒、姫路、那須3クラブ1泊交流会

（宿泊：那須しらかば荘）

4/8（水） 東京目黒クラブ本例会&第二例会

（南センター 2階会議室）

4/18（土） 第3回東新部評議会

（在日本韓国YMCA）

5/13（水） 東京目黒クラブ本例会&第二例会

（南センター 2階会議室）

2月 本例会 報告

2月12日（木）13時30分～15時40分

南センター 3階ホール

定刻に中田清子さんの司会、村野会長の開会点鐘で開会、一同でワイズソング、中田さんの聖書朗読、ひとこと、村野会長から卓話者の藤井衛さん、太田東新部部长、佐藤直前部長、櫻井LT委員長、田口ワイズ、中澤ワイズのゲスト・ビジターを紹介した。ティータイムの間に、山梨主事よりYMCA諸行事の報告・予告を説明。現在募集中の春スキーは申し込み者が既にいっぱいキャンセル待ちの嬉しい状況など報告された。

藤井衛さんの卓話は、「高齢者の知恵と経験で街興し」～「エイジレス・ライフ及び社会参加活動事例」～の取材を通して高齢者の生き方を考える。数多くの事例を画像とともにわかりやすく説明された。



平均寿命は男性 80 歳、女性 86 歳（2013 年）、65 歳以上は 4 人に 1 人。1960 年は男性 65 歳、女性 70 歳、65 歳以上は 20 人に 1 人だった。このように高齢化が急速に進んでいる。このような時代に
① 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向、② 高齢者の社会参加活動と意識、③ 高齢者の健康と福祉、④ 高齢者の学習活動と意義、⑤ コミュニティ成立の要件、⑥ ボランティア、⑦ 日本の先駆的な多機種少量生産で他では扱わない商品ボランティア論を、矢継ぎ早に展開し、藤井さんが取材して知り得た事例 1 は、1965 年代に開発された戸建住宅街を高速道路が走る課を、異業種の経験を持つ高齢者による自治活動で解決。事例 2 は、夢と化したドリームランドの運行しなかったモノレール跡地をカフェに転用し、NPO 法人を實現、運営した。事例 3 は、産業廃棄物放棄に取り組み、市民の森運動を育成した環境保護。事例 4 は、竹が森林を崩壊させるのを防ぐため、竹炭作り＋竹酢作り＋ぼかし肥料作りで森林保持。事例 5 は、環境保護と絶滅危惧種のほたる、めだか、かわらなでしこ、野間馬の保存に取り組んだ。事例 6 は、地産地消として耕作休耕地を有効利用して 6 次産業化（栽培→指導→体験→製品→運搬→販売までの流れ）を作りあげた。これらをスクリーンに映写して説明していただき、時間を超過しての熱の入った卓話を今後、後継者の育成、資金作り、NPO 法人化の課題として締めくくられた。

例会の最後は姫路クラブの阪田悦規さん選曲「まめまき」。意外と知る者が少なく楽譜を見ながら歌ったものの調子が揃わず苦笑。選者には申し訳ない。

出席者は【メン】中田、根本、福島、村野繁、村野絢子、山梨雄一、【メネット】福島、【ビジター】太田勝人（東京世田谷）、佐藤茂美（東京）、櫻井浩行（東京むかで）、田口堅吉（厚木）、中澤正子（東京たんぼぼ）、【ゲスト】藤井衛、計 13 名、出席率 100%。YY 指数 260%、欠席の山口は功労会員。



2/12 東京目黒クラブ本例会 集合写真

2月 第二例会 報告

2月12日(水) 15:50~16:30

南センター 3階ホール

2月のクラブ第二(事務)例会は部長公式訪問のため、本例会から出席された太田勝人部長、佐藤茂美直前部長、櫻井浩行LT委員長が引き続き出席、寺門文雄部会計は第二例会から出席されました。

報告

- 1) 在京新年会には中田清子、中田成(沼津)、根本幸子、山梨雄一、村野繁、絢子が出席した。
- 2) 教会会員に入会を呼び掛ける手段として継続してFACEBOOKの活用を考えている。

審議

- 1) 那須クラブと東京目黒のDBC(同区内ではあるが)を3月14日那須クラブ20周年例会で締結する。
- 2) 那須クラブ20周年例会に目黒クラブからは福島正・多恵子、村野繁・絢子が出席予定。
- 3) 14日20周年例会後、那須しらかば荘で1泊して姫路・那須・東京目黒の交流会を持つ。
- 4) 中田さんから同じマンションの井川さんから目黒クラブの例会案内をいただきたいとの要請があった。

東新部からの要請

- 1) これまで、部長を輪番制でクラブから出しているが、目黒クラブは受けられるかとの問に対して。一部スタッフは受けられるが、部長は受けられないと答えた。
 - 2) 目黒クラブはDUTYを務めているが、力を抜いて良いのではないか。
 - 3) 入会対象者を昼間例会の特徴から還暦以降の人を対象にしてはどうか(櫻井)
- 以上

卓話者予定

- 3/11 南センターの兼田夏実リーダー
 4/8 小原武夫さん(世田谷クラブ・東京YMCA会員部運営委員長)
 5/13 ー(※評価を兼ねてクラブシンキング)
 6/10 鈴木田通夫さん(東京山手クラブ)

出席者は(メン)中田、根本、村野繁、村野絢子、山梨、太田、寺門、佐藤、櫻井、計9名

stop HIV/AIDS column

エイズは人間の感染症だと思っていたら、猫も感染するんですね、たしかにアフリカから人類のエイズがチンパンジーから移ったんですね、猫もさあらん。

こんな記事がありました。猫エイズのキャリアになってしまいました

今月の2日に行ったウイルスチェックで、家の子猫(キキ、去勢済み、♂、4歳2ヶ月)がエイズウイルスにかかっている事が分かりました。まだ発病はしていないけど、とても心配です。先生は「発病しないまま寿命で亡くなる子も多いから」と言ってくれ、知り合いの知り合いにも去年発病しないまま19歳で亡くなった猫を飼っていた方がいて、それを聞いて少し安心したのですが、ネットで猫が発病しちゃった人やエイズで猫が死んじゃった人の話を読み、例えそんな日記が100件あっても、全国規模で考えると少ない方なんだろうけど、一つでも発病した猫の話を読むと、「いつか家の子も。」という気持ちになって、とても怖いんです。

(村野 繁)

☆にこにこメッセージ☆

根本幸子ワイズ

93歳にしては元気だった主人が、2/15(日)朝、ベッドから起き上がれず、立って歩くこともままならず、おまけに手も震えがきたりしたので介護タクシーで、かかりつけの虎ノ門病院に行きました。診断の結果、硬膜下血腫で、即、入院となりました。今の所安定しており、血腫が大きくなれば手術が必要とのこと、手術なしですめばと願っています。

村野絢子ワイズ

数えられないほどの福祉のお仕事をされている藤井さんがワイズメンにいらっしゃるのは頼もしいです。私は東京いのちの電話で訓練を受け、ボランティアをしましたが、今は月1回山谷と、東北の仮設の方々に自分で出来るささやかなお手伝いをさせていただいています。

村野 繁ワイズ

藤井衛さんのお話で壮年期から歳をとるといろいろな機能が衰えてきます。本人はもとより周囲の人がその人の機能が衰えていることを認めることが出来ないが、現状の情態を自分も周囲も認めることが大事だと分かりました。無いことを数えるより、出来ることを数えるようにしましょう。

福島 正ワイズ

2月例会日は退院して2週間目。新宿駅の乗り換えを含め不安があり、昔なじみの藤井さんを頼りに大和市→東中野→経堂の往復を車で送迎していただき出席がかないました。迷惑をおかけした藤井さんに尽きない感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

滋賀蒲生野クラブの「ワイズの輪」

1991年7月に始められた「ワイズの輪」が、次の執筆者を指名する方法で延々と続き、姫路クラブの会長、山本和生さんから福島が指名を受けて書いた記事が、283番目として蒲生野クラブの1月号ブリテンに掲載されました。一部を以下に転載します。

(前略)・・・東京目黒と姫路クラブは、DBCを締結して20年になります。例えば1995年9月、台風襲来暴風雨の中を姫路から大勢出席され、神田YMCAでの盛大な締結式、2004年10月は桜美林大学伊豆山荘での交流会が中越大地震に見舞われ、共に鮮明な記憶です。その他、姫路クラブ50周年/60周年、姫路広峰山ホテル、東京目黒クラブ40周年、御殿場東山荘、YMCA妙高高原ロッジと相互訪問を重ねていますが、現役世代が多い姫路クラブは日程調整が困難、一方、東京目黒クラブは高齢化で遠出が限られ今後のDBC活動を心配しています。また、那須クラブからのトライアングルDBC締結オファーは、嬉しさと実際活動の不安が半々です。3クラブのトライアングルは無理でも目黒と那須のDBC締結にむけては、両クラブで検討中です。

さて、私のワイズ入会は熊本YMCA初代主事：刈田多穂理さんのお誘いでした。「ワイズの輪」第1号を執筆された岩越重雄さん(大阪)が「刈田多穂理生誕100年記念会」を主宰された際はスタッフとして関わることができました。日本各地で唱和されているワイズソングの日本語訳は刈田多穂理さんによるもので、YMCAの歌の作詞と共に功績の一つです。

ワイズの支援で継続されている東日本区ユースボランティアリーダーズフォーラムの第1回を開催した北東部/東部/南東部の三部合同部会(1976年：晴海埠頭「にっぽん丸」船上)では南東部部長として企画・実施に参加できました。卒寿を迎えた今もワイズ活動ができる幸いを感謝し思い出の一端を記しました。(福島 正)

福島から張替滋夫さん(東京世田谷)へ、張替さんから浅羽俊一郎さん(東京山手)へと指名が続いています。

那須クラブのDBC呼びかけに対して 山本和生さん(姫路)の感触

遠隔地であり、地理的な問題から、実質的に「交流」は難しく困難な状況です。DBCも大切だが、姫路クラブは会員増強がもっと大切と考えています。また、「クラブ間の結びつき」より、「個人とのつながり」だけが重視されている現状は、問題であるとの指摘もあり、東京目黒クラブとも満足に交流できていないのにとこの意見がクラブの大勢を占め、結論を急ぐと否決される可能性が大きく、継続課題としています。従って姫路と那須のDBC締結はハードルが高いというのが偽らざるところです。

那須クラブ20周年記念感謝会で 目黒と那須クラブのDBC締結式

東京目黒(村野繁会長)と那須(田村修也会長)の両クラブで、3/14にDBC締結式ができることになりました。

トライアングル締結(姫路クラブ/東京目黒/那須)は残念ながら見送りましたが、今後も良き交流を続けましょう。

YMCAニュース (山梨雄一)

1月28日～30日にてYMCA職員を対象とした全国スキーディレクター研修会が妙高高原ロッジにて行われました。全国のYMCAより16名のスタッフが参加をし、東京YMCA野外教育研究所顧問の六本木信久氏による雪上での実技トレーニング(初心者指導法を中心)に加え、夜間は講義が行われました。各

都市YMCAにて実施をされているスキーキャンプの手法や募集方法など良き情報交換の機会ともなりました。

2月11日(水・祝日)には特別支援プログラムであるASCAクラスの体験会を実施し、次年度、高学年生となる4人の児童が参加をされました。同クラスでは、「楽しく学ぶ」を大切に臨床心理士の資格を持つ講師が指導にあたっています。

<南センタースケジュール>

- 3月1日(日)～3月3日(火) 志賀高原下見
トレーニング
- 3月7日(土) M1 チャレンジスキーキャンプ
打合せ会
M2 リトルキッズスキーキャンプ
打合せ会
- 3月8日(日) 定例野外活動(幼児)あおぞら・
おひさま例会日
南センター街頭募金 経堂駅前・
田園調布駅前
- 3月12日(木)～15日(日) オール東京スキー
実技リーダートレーニング(妙高高原ロッジ)
- 3月19日(木)・20日(金) M3 にこここ
DayCamp
- 3月23日(月) あおぞら DayCamp
- 3月26日(木)～30日(月) M1 チャレンジ
スキーキャンプ(志賀高原)
- 3月27日(金)～30日(月) M2 リトルキッズ
スキーキャンプ(志賀高原)

3月のうた

今月は、山梨雄一さんの選曲です。

「春が来た」作詞高野辰之 作曲岡野貞一文部省唱歌(三年)

春が来た 春が来た どこに来た
山に来た 里に来た 野にも来た

花がさく 花がさく どこにさく
山にさく 里にさく 野にもさく

鳥がなく 鳥がなく どこでなく
山でなく 里でなく 野でもなく

あとかぎ

2016-2017年度国際会長 選出
ジョアン ウイルソン (Joan Wilson) さん



東日本区理事通信で嬉しい知らせが届きました。東京目黒クラブとは1974年以来的旧知の友人で、横浜国際大会後には鳥居坂で歓迎会をしました。早速祝意を伝えたいと思います。(福島)